

うちの近所 コレイチ

わが町 自慢紹介 125



日本最大級のコリアタウン
散策ツアーで平和を考える

「猪飼野」をキーワードに、日本で最大級のコリアタウン（鶴橋・桃谷界隈）を散策し、商店街ごとに色分けされた桃谷商店街を通り抜けます。猪飼野の原点は1600年前に溯って、「日本書紀」に登場する古代朝鮮「百濟」からの渡来人が住んでいた地域と言われています。ツアー参加者から「戦時下に強制労働で動員されたのではないのか」という話が出されていました。猪飼野は、河内湖を望むことから



昨年12月1日、自治労連近畿ブロック女性部「近畿の自治体に働く女性のつどい」でコリアタウンを散策。大阪自治労連からも8人が参加しました（大阪コリアタウン歴史資料館前で）



入館料（一般）300円
開館時間10時～17時（入館は16時30分まで）
毎週水曜日と12月28日～1月3日は休館
TEL 06-7505-4897
（問い合わせ可能時間は11時～16時）

「猪甘津」と呼ばれた港で、百濟の人たちが猪飼部（宮廷に献上する豚を飼育する官職）として住んでいたそうです。「生駒の山裾まで他人の土地を踏まずに行けた」と言われる富豪の庄屋の屋敷跡なども見学しました。現在、住居表示変更で猪飼野という地名がなくなり、猪飼野保存会館や猪飼野新橋など4か所で地名が残っています。大阪コリアタウン歴史資料館では、日本と朝鮮半島など東アジアの歴史を学ぶことができます。日韓文化交流施設だった「班家食工房」で韓国料理を味わいながら、会話を弾んで楽しいツアーとなりました。

1616「インスファ」が「えい」が



「アングリースクワッド」 公務員と7人の詐欺師

公務員と天才詐欺師が手を組んで名うての巨大脱税悪徳企業家から10億円を奪い取る策略を仕掛けます。うまく成功するか、ハラハラドキドキの Comedy タッチ。見せ場も十分で、最後まで楽しませてくれます。税務署に勤める真面目な公務員・熊沢二郎は、若い天才詐欺師・氷室マコトの巧妙な詐欺に引っかかり大金をだまし取られてしまいます。親友の刑事の助けで氷室を探し出すも、氷室は熊沢に対して、不動産経営の脱税王を詐欺にはめ、脱税した10億円を奪い取るという計画で、そのかわりに自分を見逃してほしい

税務署員が 詐欺師と組む痛快コメディ

というものでした。そして結成したのが7人の詐欺集団「アングリースクワッド」（怒れる分隊）です。2人のほかに、変装の名人、力自慢人間、メカの天才……。税務署、警察署の上層部との癒着、えん罪で命を落とした同僚、さまざまな要素からみあつて、悪徳脱税企業と詐欺師集団の食うか食われるかのたたかいです。娯楽活劇に徹した最後の大逆転劇まで目が離せません。みなさんも映画館で楽しくたまたまみてみませんか。上映時間は120分。

Culture Navi かるちがーナび

作りませんか



ラタトゥイユ

貝塚市職労 瀬戸 真一さん

協力：現業評議会・給食部会



材料（4人分）

ベーコン20g、玉ねぎ64g（約1/4個）、水ナス45g（1/4個、ナスでも可）
ズッキーニ45g（1/5本くらい）、パプリカ（黄色、1/4個）、ダイストマト缶60g、にんにくみじん切り少々、ケチャップ大さじ1杯、ローリエ少し、オリーブ油少々、塩少々、コショウ少々

作り方

- ①ベーコンは適当な大きさに切る。玉ねぎとパプリカは一口大に切り、水ナスは厚めのいちよう切りにして水にさらす。ズッキーニは厚めのいちよう切り。
- ②オリーブ油を熱し、にんにくを炒め、香りが出たら、ベーコンを加えて炒める。
- ③玉ねぎ・水ナス・ズッキーニ・パプリカの順に加え、塩・コショウする。
- ④トマト・ケチャップ・ローリエを加えじっくり煮込む。
※野菜の水分とトマトで煮込んでいきますが、水分が飛びすぎて焦げつきそうな場合はトマト缶の汁で調節してください。

心に響くひとこと

すべての花を切ることはできても
春が訪れることを
妨げることはできない
パブロ・ネルーダ
（1904年～1973年 チリの詩人・外交官）

世界で初めて選挙により樹立されたチリ社会主義政権を支えた外交官であり、「あらゆる言語で20世紀の最も偉大な詩人」と呼ばれたネルーダは、「一国の大陸の運命と、多くの人々の夢に生気を与える源となった」として、1971年、ノーベル文学賞を受賞。それも束の間、1973年9月11日、米国に支援されたピノチェト将軍が政権を暴力的に転覆。2週間後に彼は生涯を終えた。しかし、どんな権力者も変革を止めることはできない。チリ人民は1988年に勝利する。

今月の 記念日

1月17日
おむすびの日

2000年に「ごはんを食べよう国民運動推進協議会」が制定され、2018年に公益社団法人「米穀安定供給確保支援機構」が引き継いでいます。1995年1月17日の阪神・淡路大震災では、多くのボランティアによる炊き出しで被災者におむすびが届けられたのです。人と人との温かい心を結ぶ「おむすびの日」として、大震災が起きた1月17日を記念日としました。毎年、「主食である米の重要性を再認識してもらい、ボランティアの善意を希薄させない」ことを目的にイベントが実施されています。死者6000人以上、全壊家屋10万棟以上、建物火災約285件という凄まじい被害を生んだこの大災害の教訓を、今後とも未来にいかすことが重要です。